

**2017 春季生活闘争
第 5 回戦術委員会 確認事項**

連合は本日、2017 春季生活闘争の第 5 回戦術委員会を開催し、現時点の交渉状況を把握するとともに、ヤマ場における回答引き出しに向けて以下の通り確認した。

- 1 2 月の要求提出以降、中核組合を中心に重ねてきた交渉は 15 日のヤマ場に向け、最終局面をむかえている。経営側は、我々の要求趣旨を受け止めつつも慎重な姿勢を崩していない。
- 2 我々は、ヤマ場に向けて以下の点をさらに強調し、ギリギリまで粘り強く交渉に全力を尽くす。
 - ① 「経済の自律的成長」実現に向けて、労使は社会的責任と役割を果たす事が求められている。そのためには、月例賃金の引き上げこそが不可欠である。
 - ② 企業の存続と成長のためには「人への投資」が不可欠である。
 - ③ 中小企業あるいは非正規雇用で働く労働者の処遇の「底上げ」実現は、喫緊の課題である。
 - ④ 労働時間短縮をはじめとする働き方の見直しは、職場を最も良く知る労使こそが取り組まなければならない。
- 3 すべての組合は、「底上げ春闘」を継続させるためにも、「持続性」「月例賃金」「広がり」「底上げ」に繋がる回答を引き出さなければならない。
- 4 構成組織は、諸要求に対する回答内容を、速やかに連合に報告する。
連合は、3 月 15 日のヤマ場における回答内容の把握に努め、その結果を公表すると同時に、以降の対応について改めて中央闘争委員長名で発信する。

以 上

○回答集計・プレス発表の日程

2017年 3月 15日	ヤマ場 回答状況発表	(中核組合中心)
17日	第1回回答集計結果発表	(先行組合中心)
24日	第2回回答集計結果発表	(中堅組合中心)
31日	第3回回答集計結果発表	(3月末状況)

※ 機関会議・諸行動の日程は、第 4 回中央闘争委員会確認事項（3 月 2 日）参照